令和６年度　指定管理者制度モニタリング評価表（令和５年末時点）

１　施設概要

⑴　基本的事項

施設名	尼崎市立すこやかプラザ	施設所管課	こども青少年局　こども福祉課				
施設住所	尼崎市七松町1丁目3番1－502号	竣工	H12.6(築満23年)				
設置目的	少子・高齢化社会において、市民がお互いに支え合いながら安心して健やかに暮らせる地域社会の形成に資することを目的とする。						
主な事業内容	子育て支援コーナー(PAL)、多目的ホールの貸出、一時預かり事業(とんとん)、子育て支援や高齢者支援などに関する講座やイベントを実施している。						
指定管理者名	特定非営利活動法人　子どものみらい尼崎	指定期間	自	R4.4.1	至	R9.3.31	

⑵　施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	A(施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設)
指定管理者に主として期待される事項	☑専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☑効率的な施設維持管理運営　□団体等の担い手としての成長 □その他(　　)

３　市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

すこやかプラザ利用者数及び満足度の割合の増加を図る。

実施結果

(指標①)スタッフやすこやかサポーターへの研修及び事業の内容の充実等をとおし利用者の満足に努め、目標を大きく上回った。

(指標②)保健所増設工事の影響を受けた前年度に比べ利用者数は持ち直し、目標を概ね達成するにいたった。

（参考）有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：満足度（単位：%）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	79%	90%	90%	%	%
実績	－	－	－	－	－	－	90%	99%			
達成度	－	－	－	－	－	－	114%	110%			
評価	－	－	－	－	－	－	◎	◎			

指標②：利用者数（単位：人）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	30853	37020	46863	58625	58000	人	人
実績	－	－	－	－	31653	45853	48039	58046			
達成度	－	－	－	－	103%	124%	103%	99%			
評価	－	－	－	－	○	◎	○	○			

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

効率性

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

適正な人員配置を行うとともに、スタッフミーティング・所内会議・接遇研修を行うことで利用者の満足度の向上につなげていく

実施結果及び評価

スタッフ間の振り返りのミーティングを継続する他、指定事業であるボランティア養成講座で登録され研修を受けたすこやかサポーターの力をあらゆる事業で活用する等、決められた指定管理料内で市民サービスを維持・向上させていると評価できる。　◎

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

施設の保守点検を行うとともに、日頃から、裏紙の再利用・廃材の利用など環境へ配慮した取り組みや経費削減に取り組む

実施結果及び評価

廃材の利用を継続している他、施設内の老朽化箇所に対処するため指定管理料内で修繕を進める等、適正な施設管理に努めていると評価できる。　◎

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

（参考）経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	52,586,000	52,586,000	0	人件費	33,324,000	31,265,236	2,058,764
				報償費	930,000	1,288,960	-358,960
				旅費	5,000	9,340	-4,340
				需用費	4,009,000	4,995,715	-986,715
				備品購入費	149,000	0	149,000
				役務費	3,043,000	2,325,900	717,100
				委託料	4,193,000	4,792,549	-599,549
				使用料及び賃借料	314,000	655,205	-341,205
				負担金	6,619,000	6,549,440	69,560
収入計	52,586,000	52,586,000	0	支出計	52,586,000	51,882,345	703,655

２　指定期間全体を通じての目標・実績

⑴　指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	利用者に寄り添う支援とともに地域社会とのつながりづくりを強化していく取組姿勢があり、すこやかプラザにより一層求められる本市の子育て支援活動の拠点としての機能の充実が期待できる
指定管理者自身が設定した目標	すこやかプラザの管理運営を通じて、尼崎市のすべての子どもが健やかに育つ社会の実現に寄与し、「支えあいの地域づくり」を推進する。

⑵　市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	親子や高齢者などがつどう場の提供やホールの貸室業務を通して様々な世帯に喜びを感じてもらい、情報の提供や講座・イベントを通して、人々が安心して暮らし、人とのつながりが感じられるようにする。

目標指標

指標	利用者数の増加(単位:)人					
指定期間	R４	R５	R６	R７	R８	達成状況の評価
目標値	46863.00	58625.00	58000.00			保健所増設工事の影響を受けた前年度に比べ利用者数は持ち直し、目標を概ね達成するにいたった。
実績値	48039.00	58046.00				

適正性

法令遵守	
施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報の保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
施設の経営状況	
収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
危機管理ー事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
履行状況ー提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか	
年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

パートナーシップ

関係性の構築

施設の老朽化等の問題に対しても市・指定管理者ともに随時報告・連絡・相談を行い対処し、信頼関係が深まった。

協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）

特に施設の修繕に関し互いに報告・相談を行ったことで、市・指定管理者ともに定められた予算を活用し取り組むことができた。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

地元に住むプロの音楽家によるコンサートは継続しており、子どもの持参したおもちゃを現役引退後の手に職のある高齢者が修理するおもちゃクリニックなどの事業も実施しているため、地域の人材活用を積極的に行い施設の設置目的の一つである世代間交流を行えていると考える。

元気アップ講座や高齢介護課との共催である認知症サポーター養成講座等の高齢者支援事業を継続し利用者からの介護福祉関係の相談も受け付けているが、子育て支援・世代間交流に比べ施設の高齢者支援のイメージがつきにくい現状があるように感じる。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

施設の老朽化で至る所に影響が出ていることが課題であるが、その都度の協議の上、費用を勘案し指定管理料で対応できる修繕は指定管理者に行っていただき、そうでない修繕や工事は市で施工するなど連携をとることができた。

令和5年度に多目的ホールのアンプを入替を行い音割れを解消できたこと、また空調機の改修工事を次年度に予算化できたことは特に成果であると考えている。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

子育て支援のさらなる充実や地域の人材を活用した世代間交流の積極的な実施など、施設の設置目的を果たす努力がみてとれ成果も出ているといえる。利用者からの高齢者支援の認知度が他事業に比べ低くなりがちという課題はあるが、長年介護予防目的に利用する方も一定数おり、効果は出ている。

施設ができてから年数が経過しており、施設全体に係る空調機や多目的ホール内の設備等、あらゆる部分に老朽化の影響がみられる中、毎年度の限られた予算の範囲内で修繕や工事を行っており、今後も施設運営に支障を来たさぬよう可能な限り対処していくことが重要である。

市と指定管理者双方で今後も連携・協力していくことで、目標である利用者数や満足度の割合の増加につなげられるよう努めていく。

令和６年度　指定管理者制度モニタリング評価表（令和５年度末時点）

１　施設概要

⑴　基本的事項

施設名	尼崎市尼崎学園	施設所管課	こども青少年局　こども相談支援課			
施設住所	神戸市北区道場町塩田3038番地	竣工	平成26年3月（築満10年）			
設置目的	児童福祉法（昭和22年法律第164号）の規定による児童養護施設として設置					
主な事業内容	児童福祉法に基づく児童養護施設として、乳児を除く、保護者のいない児童や虐待を受けている児童、その他環境上養護を要する児童を養護するとともに児童の自立を支援する。					
指定管理者名	社会福祉法人　尼崎市社会福祉事業団	指定期間	自	R4.4.1	至	R9.3.31

⑵　施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	A（施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設）
指定管理者に主として期待される事項	☑専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 □効率的な施設維持管理運営　□団体等の担い手としての成長 □その他（　　）

３　市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

事業計画書に示された事業の実施を適切に行う（児童の安全確保、実習生の受入、相談体制の構築、児童からの意見提案の対応、地域住民との連携、児童への心のケアの継続実施等）

実施結果

児童に安全確保に十分留意し、大きな事故の発生もない。児童へのアンケートやユニット会議も定期的に行われ、要望も可能なものから実現させており、アンケートの満足度も82%に上昇し、目標達成となった。昨年度同様、実習生の受入を積極的に行い、モニタリング訪問時は実習生を4名受入中であった。地域住民との連携については、職員・児童とも地域行事へ積極的に参加（運動会等）するようにしており、良好な関係が築かれている。

（参考）有効性に関する指標の設定及びその状況

指 標 ①：　入所児童の施設に対する満足度８０%以上（単位：%）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	80%	80%	80%	80%	80%	80%	80%
実績	－	－	－	－	82%	79%	76%	82%			
達成度	－	－	－	－	－	－	95%	100%			
評価	－	－	－	－	－	－	○	○			

指 標 ②：　入所児童に対する心のケアが適切に行われ自立に向けた支援を行ったか。（対処/事案１００%）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	100%	100%	100%	100%	100%
実績	－	－	－	－	－	－	99%	99%			
達成度	－	－	－	－	－	－	99%	99%			
評価	－	－	－	－	－	－	○	○			

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

効率性

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

適正な収支バランスで施設を管理運営する。収支報告を適正に行う。法定点検等、施設維持管理を行う上での最低基準の遵守。必要となる専門職種の確保と適正な職員配置を行う。定期的な内部研修を実施する。

実施結果及び評価

収支について特に問題なく運営ができている。各ユニットごとに必要な職員に配置を行うとともに、年間を通じて、職員会議を利用した職員研修を実施している。法定点検についても、必要十分なものが行われている。財団等からの奨学金や寄付金なども活用しながら、子どもたちの生活の質の向上を図る努力をしている。

○

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

施設の保守・保全・点検を適正に実施する。保守点検の業務委託は適正水準で実施。

実施結果及び評価

施設の保守点検等は業務委託を行い適正に実施している。公共施設保全マニュアルをみながら施設の保全に努めている。また、使用していない部屋の消灯、エアコン設定温度の管理、裏紙利用や2in1など環境に配慮できるところは積極的に行っている。

○

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

（参考）経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
管理運営事業費	209,191,000	209,191,000	0	人件費	169,341,000	153,008,335	16,332,665
事務局間接費	8,473,000	8,473,000	0	維持管理事業費	13,217,000	12,697,339	519,661
補助金			0	運営事業費	33,371,000	37,302,609	-3,931,609
その他			0	事務局間接費	10,947,000	31,191,710	-20,244,710
収入計	217,664,000	217,664,000	0	支出計	226,876,000	234,199,993	-7,323,993

２　指定期間全体を通じての目標・実績

⑴　指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	保護者のいない児童や虐待を受けている児童、その他環境上養護を必要とする児童の養護や、その児童の自立への支援を達成するための十分な能力を有していること。
指定管理者自身が設定した目標	入所児童が朗らかな家庭的雰囲気の中で、心身ともに健やかに育ち、社会の一員としての責任を自主的に果たすことができるように導く。

⑵　市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	児童福祉法に基づく児童養護施設として、措置された児童を自立させて、社会生活に柔軟に対応できるよう環境づくりを図る。

目標指標							
指標	入所児童の施設に対する満足度80%以上						
指定期間	R４	R５	R６	R７	R８	達成状況の評価	
目標値	80%	80%	80%	80%	80%	目標値である満足度80%を達成した。	
実績値	76%	82%					

適正性

法令遵守

施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報の保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正

施設の経営状況

収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か	適正

危機管理ー事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか

災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正

履行状況ー提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか

年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

パートナーシップ

関係性の構築

基本的には、毎月提出される月次報告書を確認し、適宜必要に応じて情報交換・意見交換を行った。また今年度は、虹ユニットの改修と定員減について協議を重ねたこともあり、指定管理者が今感じている課題と市の方針について、意見の相違はあったものの、お互いの考え方を理解することができた。協議は今後も継続していく。

協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）

児童一人ひとりの意見を大切にするために実施している、アンケート調査の実施やユニット会議での意見聴取の内容を市と指定管理者で共有し、対応事例を確認する等している。
疑問点などがあれば、指定管理者が行うこと、市が行うことを確認しながら適切な運営に努めている。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

ユニット会議を2回開催できた。その中で、子どもたちが思っていることを感じ、実現可能なことは要望に応えてきた。日常生活も安全安心を子どもたちにある程度提供できたと思っている。課題として、次年度より大学生が3名、職業訓練校生が1名増える。施設も高齢児化しており、その対応が求められる。施設の定員の改定、改修工事など市との意見の相違はあったが、次年度、児童福祉法の改正に向けて、施設の今後のあり方、定員や施設の改修等を協議したい。児童相談所、一時保護所への円滑な支援ができるよう、引き続き協議を進めたい。また、敷地内にある樹木の伐採が必要な状況にあるため、その対応についても協議をしていきたい。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

児童の安全・安心な日常生活を一番に考え、指定管理業務を行っている。引き続き児童一人ひとりに寄り添い、日々の生活の中で、自立に向けた力を蓄えるための支援をお願いしたい。ハード面に関しては、竣工からもうすぐ10年を迎えることとなり、少しずつ不具合が出てくる時期に差し掛かっている。日々の点検・確認を確実に行い、気になる点があれば市に報告する等、市と積極的にコミュニケーションをとりながら、適切な施設の維持管理に努めてほしい。高齢児化への対応については、指定管理者と意見の相違があるが、丁寧に協議を重ね、双方納得のいく方策を検討していきたい。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

施設運営については、様々な機会をとらえて子どもの意見を聞きながら、子どもファーストで自立に向けた支援を行っていることを、日々のやりとりのほか、モニタリングの中で実施されていることを確認しており、指定管理者を信頼して任せることができているが、より市と指定管理者の情報共有を密にしたうえで、良好なパートナーシップの醸成に努めていく。入所者数の増に取り組むとともに、施設の高齢児化については、喫緊の対応が必要であるが、同時に令和8年度の市児童相談所の設置後の市と尼崎学園の関係性、あり方を視野に入れながら、長期的に施設運営を検討することも重要であることから、市と指定管理者でコミュニケーションをとりながら、丁寧に協議を進めていく。敷地内の樹木伐採については、令和6年度中に実施できるように取り組んでいく。

令和６年度　指定管理者制度モニタリング評価表（令和５年度末時点）

１　施設概要

⑴　基本的事項

施設名	尼崎市立美方高原自然の家	施設所管課	教育委員会事務局　学校教育課				
施設住所	兵庫県美方郡香美町小代区新屋1432-35	竣工	H8.4（築満27年）				
設置目的	自然の中での野外・集団活動を通じて青少年の健全な育成を図るとともに、自然と親しむ場を提供することにより、市民の自然への理解を深め、余暇の活用を図る。						
主な事業内容	自然学校に関する事業、野外活動の場の提供・指導、野外活動指導者及び青少年団体指導者の研修						
指定管理者名	公益財団法人日本アウトワード・バウンド協会	指定期間	自	R4.4.1	至	R9.3.31	

⑵　施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	A（施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設）
指定管理者に主として期待される事項	☑専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☑効率的な施設維持管理運営　□団体等の担い手としての成長 □その他（　　）

３　市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

指定事業及び自主事業の実施にあたっては、協定書の規定を遵守して指定事業を履行するとともに、利用者のニーズを把握し、市民等の参画を促し自主事業を実施していく。

実施結果

市内の小学校の自然学校活動を受け入れ、児童が集団生活の中で人や自然に触れ合う機会を提供するとともに、施設の利用者に野外活動で自然体験の場を提供するプログラムを実施した。（指標①）

（参考）有効性に関する指標の設定及びその状況

指 標 ①： 施設の利用者満足度（単位：%）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	85%	85%	85%	85%	85%
実績	－	－	－	－	83.7%	79.5%	84.6%	79.0%			
達成度	－	－	－	－	－	－	99.5%	92.9%			
評価	－	－	－	－	－	－	○	△			

指 標 ②： 利用者アンケートにおける自然への理解に「4」以上を回答した割合（単位：%）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	85%	85%	85%	85%	85%
実績	－	－	－	－	98.2%	85.8%	88.4%	89.7%			
達成度	－	－	－	－	－	－	104.0%	105.5%			
評価	－	－	－	－	－	－	○	○			

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

効率性

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

施設の保守管理に努めるとともに、利用率向上への取組及び利用者に対する接遇サービスの維持・向上に努める。

実施結果及び評価

委託業務や修繕見積について、手続を集約することで事務手数料や諸経費の軽減に努めている。オンライン会議を活用し、移動費や公用車燃料費の削減に努めている。タブレット又はノートパソコンの活用を進め、会議資料のペーパーレスを促進している。ネットワーク環境を生かして、オンライン受付やアンケート集計、調査委データの集計などの省力化を推進している。

○

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

経費を効率的に低減するための取組を行う。

実施結果及び評価

電気代については、運営状況に応じた適正な契約に努めている。電気使用量の随時監視をするデマンド監視盤により節電に努めている。照明機器をLEDタイプに更新し、電球のLED化を推進。ボイラー及び冷温水機の稼働は燃料と電力の消費が多いため、設備管理職員を中心に、燃料、電気、上水道などの使用量や経費を記録し、こまめな対応にて節減に努めている。

○

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

（参考）経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	140,200,000	140,200,000	0	人件費	71,306,000	67,859,803	3,446,197
その他	1,114,000	1,130,800	16,800	物件費	70,008,000	73,402,633	-3,394,633
			0				0
			0				0
収入計	141,314,000	141,330,800	16,800	支出計	141,314,000	141,262,436	51,564

２　指定期間全体を通じての目標・実績

⑴　指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	・基本方針や事業内容の充実等、施設の効用を最大限に発揮できる提案となっているか。 ・施設運営面で施設管理体制や人的能力等、施設の管理を安定して行う能力を有しているか。
指定管理者自身が設定した目標	利用者アンケート回答における「大変良い」「良い」の回答率を向上させる。 １「青少年の気づき、学びを促進します。」 達成目標値85% 「尼崎市内の小学校における自然学校支援の運営」 達成目標値80% ２「自然環境への興味関心を育みます。」 達成目標値85% ３「地域を生かした人と文化の交流の場を創造します。」 達成目標値80% ４「安心安全で多様性を尊重した施設づくり」 達成目標値85% ５「自然を生かした未来志向の教育を推進します。」 達成目標値85%

⑵　市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	尼崎市立美方高原自然の家をより有効かつ効率よく、一人でも多くの方々に利用していただき、市民の青少年育成と余暇活用の促進を図る。

目標指標	指標	利用者アンケートにおける運営について「4」以上を回答した割合（単位：%）					
	指定期間	R4	R5	R6	R7	R8	達成状況の評価
	目標値	85.00	85.00	85.00	85.00	85.00	積極的に取組を展開した結果、目標達成に至った。
	実績値	84.50	85.10				

適正性

法令遵守	
施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報の保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
施設の経営状況	
収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	要改善
指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
危機管理ー事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
履行状況ー提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか	
年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

パートナーシップ

関係性の構築

月1回Zoomミーティングで毎月の自然学校の状況、自主事業の状況など、施設に関することについて、情報共有を目的に行っている。

協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）

自然学校指導事前オンライン研修の参加率について指定管理者側から報告を受けたことをきっかけとして、参加率向上のために教育委員会から各校へのアナウンスを行った。

お互いに問題点の洗い出しから改善策の提案等をそれぞれの視点で考え、共有しながら進めていくことができていると感じる。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

・自然学校支援において、職員の対応や活動の支援については、アンケート調査で90%前後の「良い」、「大変良い」を得ているが、食事提供については80%台の数値であるため、向上できるよう改善に努める。

・自然の家の運営目的や目標の達成を念頭に管理運営を行っているが、令和5年度の利用者人数は、31，958人であり、目標利用人数37，000人に至らなかったため、今後は、より一層の営業活動や家族、個人向け広報であるSNSでの情報発信等を行い、利用者獲得を目指す。

・食堂運営において、R5は異物混入などの危険事案が発生したため、今後このようなな事案が起きないよう食堂運営上の安全管理について徹底する必要がある。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

・成果：今年度から市内全校が当該施設にて自然学校活動を行うことになったが、大きな事故等が発生することはなく、子供たちに学びの場を安全に提供することができたことは、大変良かった。指定管理者と現地の情報を共有しながら、課題・問題点等についての対策及び各学校からの要望等について確認を行いながら、改善を進めることができた。

・課題：一般利用者数の増加に向けた取組を検討していく必要があると考える。
利用満足度において、他の項目よりも満足度が低い食事提供については、食材価格の上昇の事情もあり、満足度を上げることは容易でないが、質面の改善策を考えていく必要がある。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

利用者が徐々に増えてきていることから、今後も一定の利用者数が見込めるものの、当該利用者の再利用率を高めるための施設サービスの充実、さらには、未利用者に対する情報発信が今後の課題となるため、市と指定管理者が一緒に取り組んでいくことが必要であると考える。

令和６年度　指定管理者制度モニタリング評価表（令和５年度末時点）

１　施設概要

⑴　基本的事項

施設名	尼崎市立青少年いこいの家	施設所管課	こども青少年局　こども青少年課				
施設住所	兵庫県川辺郡猪名川町万善字東山6番地の1	竣工	S40.12（築満57年）				
設置目的	野外活動及び集団生活を通じて健全な青少年の育成と福祉の増進						
主な事業内容	野外活動・集団生活、指導者の訓練・研修、集会・レクリエーションの場の提供、野外活動等の指導等						
指定管理者名	尼崎市スポーツ振興事業団・イオンディライト共同体	指定期間	自	R4.4.1	至	R6.3.31	

⑵　施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	A（施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設）
指定管理者に主として期待される事項	□専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☑効率的な施設維持管理運営　□団体等の担い手としての成長 □その他（　　）

３　市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

指定事業・自主事業の実施にあたっては協定書その他の規定を遵守し、確実に履行するとともに、利用者のニーズを把握し、事業の改善や新たな取組に生かす。

実施結果

流しそうめんやじゃがいも・玉ねぎ等の収穫体験など、施設の特性を生かした野外活動プログラムを実施した。（指標①）

（参考）有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：利用者アンケートにおけるプログラム内容の質問について、「満足」以上で回答した利用者の割合（%）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	95%	95%	95%	－	－	－
実績	99%	92%	99%	96%	98%	99%	99%	98%			
達成度	－	－	－	－	－	104%	104%	103			
評価	－	－	－	－	－	◎	◎	◎			

指標②：利用者アンケートにおける施設内の安全性の質問について、「満足」以上で回答した利用者の割合（%）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	95%	95%	95%	－	－	－
実績	97%	88%	98%	96%	98%	99%	99%	94%			
達成度	－	－	－	－	－	104%	104%	98%			
評価	－	－	－	－	－	◎	◎	○			

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

効率性

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

施設の保守、破損等の修繕を適正に実施するともに、利用者に対する接遇やサービスの維持・向上を目指す。

実施結果及び評価

法令に従い、施設の保守・保全・点検を適正に実施するとともに経費の削減に努めた。また、利用者満足度を高めるため接遇研修を実施するなど利用者サービスの向上と施設のイメージアップに努めた。

○

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

事務事業から発生する二酸化炭素削減に向けて、職員等不在箇所の電気の消灯やペーパーレス化の推進に取り組むとともに資源の分別、リサイクルに加え、イベント事業では野外料理での食品ロスの削減や薪・炭の使用を制限し火の取り扱い時間を最小限に抑えるなどに取組む。

実施結果及び評価

貸館施設として利用者に不便をかけない範囲内で最大限、不要な電気の消灯に取り組むとともに、WEB会議による資料のペーパーレス化など省エネ行動を心掛けた。また、ごみの分別を徹底するとともに、廃棄の際も個人情報を含む機密書類が混ざっていないか適宜再チェックを行った。イベント事業実施の際は省エネや食品ロスにつながるプログラムを立案し、環境問題として参加者にも考えていただき協力を得ながら進行した。

○

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

（参考）経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	28,653	28,653	0	人件費	22,075	23,459	−1,384
				事業費	0	0	0
				施設維持管理運営費	5,068	4,862	206
				その他	3,100	4,904	−1,804
収入計	28,653	28,653	0	支出計	30,243	33,225	−2,982

２　指定期間全体を通じての目標・実績

⑴　指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	・施設運営にあたっての基本方針や事業内容において、施設の機能を十分に活用した提案がなされているか。 ・施設の再整備にあたり、市の動きと連携を取りながら、再整備後の新たな施設へのつなぎ役を担えるか。
指定管理者自身が設定した目標	・施設の再整備を控える中、引き続き本施設の設置目的が最大限発揮できるよう市と協働してより良い施設づくりに努める。 ・年間12，600人の施設利用者数を目標とする。（令和4年度実績11，491人の10%アップ） ・年間2，200人のイベント事業参加人数を目標とする。（令和4年度実績1，968人の10%アップ）

⑵　市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	青少年の自然や生命への畏怖の念を育て、自然と調和して生きていくことの大切さを理解するとともに、他者への思いやりや共に生きていくことの大切さなどの社会性を育む野外活動施設を目指す。

目標指標							
指標	利用者アンケートにおける満足度の質問で、「良い」以上で回答した利用者の割合（%）						
指定期間	R4	R5				達成状況の評価	
目標値	95.00	95.00				施設利用者の満足度が高く、リピーターも多いことから目標達成状況は非常に良好である。	
実績値	97.19	98.34					

適正性

法令遵守	
施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
施設の経営状況	
収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
危機管理ー事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
履行状況ー提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか	
年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

パートナーシップ

関係性の構築

適時の報告・連絡・相談を互いに密にすることで、信頼関係が深まった。

協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）

令和8年度のリニューアルオープンに向け、指定管理者の協力を得ながら業務を進めているところである。今年度は、令和6年度から工事を行うため、市のイメージを基に、実務を担っている指定管理者の意見を反映しながら再整備中の維持管理等について一定の整理を行った。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

令和2年度からのコロナ禍以降、利用人数が減少していたが、令和5年度は前年度を1,414人上回る12,905人に達している。（春休み期間の繁忙期である3月に休館するため、年間実績は低くなっている。）また、令和5年度に実施した自主事業は好評で、ほとんどが定員をオーバーし、抽選による参加受付となり、こちらも前年度を161人上回る2,129人であった。
主にリピーターをターゲットとして令和6年度からの再整備の案内を徹底し、令和8年度のリニューアルオープン時に顧客が離れないよう取り組む。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

令和8年度のリニューアルオープンに向けた施設の再整備工事について、指定管理者と連携しながら事務を進めていきたい。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

令和8年度のリニューアルオープンに向けた施設の再整備工事のため、令和6年3月から施設の供用を停止した。令和5年度までの課題を踏まえつつ、市と指定管理者で連携しながら事務を進めていきたい。

令和６年度　指定管理者制度モニタリング評価表（令和５年度末時点）

１　施設概要

⑴　基本的事項

施設名	尼崎市立城内青少年体育道場	施設所管課	こども青少年局　こども青少年課				
施設住所	尼崎市南城内7番地2号	竣工	H8.12（築満26年）				
設置目的	体育を通じて心身ともに健全にして社会性に富んだ青少年の育成を図る。						
主な事業内容	空手、剣道その他一般体育及びレクリエーション活動のための場の提供						
指定管理者名	尼崎市剣道連盟	指定期間	自	R4.4.1	至	R9.3.31	

⑵　施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	B（指定管理者の役割が、施設維持管理等に係るものが主である施設）
指定管理者に主として期待される事項	□専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☑効率的な施設維持管理運営　□団体等の担い手としての成長 □その他（　　）

３　市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

外観、器具、運営等に関する利用者アンケートで良い以上の評価を6割以上取得し、登録団体を12団体に増加するように努める。

実施結果

道場の活用を通じて、青少年等と多世代が交流する場として、地域コミュニティの醸成にも役立てており、利用者の満足度は高く、指標①の目標は大きく上回って達成しているが、登録団体数は増えず、指標②目標の達成に至らなかった。

（参考）有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：利用者アンケートにて良い以上の評価の割合（単位：%）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	60	60	60	60	60
実績	－	－	－	－	－	－	76	68			
達成度	－	－	－	－	－	－	127%	113%			
評価	－	－	－	－	－	－	◎	◎			

指標②：青少年体育道場に登録している団体数（単位：団体）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	12	12	12	12	12
実績	－	－	－	－	10	10	9	10			
達成度	－	－	－	－	－	－	75%	83%			
評価	－	－	－	－	－	－	△	△			

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

効率性

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

道場における活動を通じ、青少年の健全育成を推進するとともに常に道場の整理整頓を心がける等、建物の環境整備に努め、利用者が快適に利用できる環境を提供する。

実施結果及び評価

道場の活用を通じて、青少年等の多世代が交流する場として、地域コミュニティの醸成にも役立てている。また、施設の整理整頓を常に心がけると共に利用者による日常的な清掃等により、施設の保全に万全の注意を払って管理を行ったことで良好な利用環境が保たれている。

○

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

物品を購入する際には、環境に適した物品（グリーン購入）の購入を検討するとともに不要な電気の消灯等に努めていく。

実施結果及び評価

グリーン購入の物品の購入を行うとともに不要な電気の消灯に努めている。

○

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

（参考）経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	554,000	554,000	0	人件費			0
			0	事業費			0
			0	施設維持管理運営費	554,000	554,000	0
			0	その他			0
収入計	554,000	554,000	0	支出計	554,000	554,000	0

２　指定期間全体を通じての目標・実績

⑴　指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	利用者自身による管理を行うことで管理経費の縮減等が見込め、青少年の体育実技の指導においても幅広い知識や経験、ノウハウが欠かせないことから「指定管理者制度について（指針）」に基づき非公募で指定管理者を選定している。
指定管理者自身が設定した目標	青少年体育道場の登録団体を12団体に増加するように努める。

⑵　市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	青少年が、柔道、剣道、その他一般体育及びレクリエーション活動を通じて、快適に利用できる環境を提供する。

目標指標							
指標	城内青少年体育道場の登録団体						
指定期間	R４	R５	R６	R７	R８	達成状況の評価	
目標値	12	12	12	12	12	コロナ禍で活動団体が減少し、微増したが目標達成には至らなかった。	
実績値	9	10					

適正性

法令遵守	
施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	－
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
施設の経営状況	
収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
危機管理ー事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
履行状況ー提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか	
年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

パートナーシップ

関係性の構築

適時の報告・連絡・相談を互いに密にすることで、信頼関係が深まった。

協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）

施設の運営については、指定管理者の協力を得ながら行っているところであるが、敷地内の樹木等の伐採は所管課で対応を行うこととした。今後も指定管理者と意見交換を行い施設管理業務を行っていく。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

利用者アンケートにおいて、施設修繕の要望が多く大規模のものについては、市と情報共有しながら対応していきたい。
スポーツ活動を行う施設であることから、熱中症予防等、利用者の安全のためエアコンの設置を市に求める。
また、もしもの時のためにAEDの設置を求める。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

施設の指標における年度目標は達成できなかったが指定管理業務は適正に遂行されている。年度目標を達成できるよう、幅広い機会をとらえて広く広報活動を行い利用促進に努めていただきたい。
利用者から直接、市にエアコン設置を求める声もあり、利用者の安全のためエアコン設置が必要であると考える。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

施設内の樹木等の伐採のように、大規模な修繕が必要なものについては、指定管理者と協議を行い予算計上を目指し、財政当局と調整していく。また、軽微な修繕については、指定管理者で行っていくこととする。

令和６年度　指定管理者制度モニタリング評価表（令和５年度末時点）

１　施設概要

⑴　基本的事項

施設名	尼崎市立立花青少年体育道場	施設所管課	こども青少年局　こども青少年課
施設住所	尼崎市立花町3丁目10-15	竣工	H9.11（築満25年）
設置目的	体育を通じて心身ともに健全にして社会性に富んだ青少年の育成を図る。		
主な事業内容	空手、剣道その他一般体育及びレクリエーション活動のための場の提供		
指定管理者名	尼崎市スポーツ少年団	指定期間	自　R4.4.1　至　R9.3.31

⑵　施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	B（指定管理者の役割が、施設維持管理等に係るものが主である施設）
指定管理者に主として期待される事項	□専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☑効率的な施設維持管理運営　□団体等の担い手としての成長 □その他（　　）

３　市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

外観、器具、運営等に関する利用者アンケートで良い以上の評価を6割以上取得し、登録団体を17団体に増加するように努める。

実施結果

道場の活用を通じて、青少年等と多世代が交流する場として、地域コミュニティの醸成にも役立てており、利用者の満足度は高く、指標①、②共に目標を上回った。

（参考）有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：利用者アンケートにて良い以上の評価の割合（単位：%）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	60	60	60	60	60
実績	－	－	－	－	－	－	79	67			
達成度	－	－	－	－	－	－	132%	112%			
評価	－	－	－	－	－	－	◎	◎			

指標②：青少年体育道場に登録している団体数（単位：団体）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	17	17	17	17	17
実績	－	－	－	－	15	15	16	18			
達成度	－	－	－	－	－	－	94%	106%			
評価	－	－	－	－	－	－	△	○			

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

効率性

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

道場における活動を通じ、青少年の健全育成を推進するとともに常に道場の整理整頓を心がける等、建物の環境整備に努め、利用者が快適に利用できる環境を提供する。

実施結果及び評価

道場の活用を通じて、青少年等の多世代が交流する場として、地域コミュニティの醸成にも役立てている。また、施設の整理整頓を常に心がけると共に利用者による日常的な清掃等により、施設の保全に万全の注意を払って管理を行ったことで良好な利用環境が保たれている。

○

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

物品を購入する際には、環境に適した物品（グリーン購入）の購入を検討するとともに不要な電気の消灯等に努めていく。

実施結果及び評価

グリーン購入の物品の購入を行うとともに不要な電気の消灯に努めている。

○

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

（参考）経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	597,000	597,000	0	人件費			0
			0	事業費			0
			0	施設維持管理運営費	597,000	499,235	97,765
			0	その他			0
収入計	597,000	597,000	0	支出計	597,000	499,235	97,765

２　指定期間全体を通じての目標・実績

⑴　指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	利用者自身による管理を行うことで管理経費の縮減等が見込め、青少年の体育実技の指導においても幅広い知識や経験、ノウハウが欠かせないことから「指定管理者制度について（指針）」に基づき非公募で指定管理者を選定している。
指定管理者自身が設定した目標	青少年体育道場の登録団体を17団体に増加するように努めつつ、利用者アンケートの評価を維持する。

⑵　市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	青少年が、柔道、剣道、その他一般体育及びレクリエーション活動を通じて、快適に利用できる環境を提供する。

目標指標							
指標	立花青少年体育道場の登録団体						
指定期間	R４	R５	R６	R７	R８	達成状況の評価	
目標値	17	17	17	17	17	コロナが減少したことで利用団体数が増加傾向にあり、目標を上回った。	
実績値	16	18					

適正性

法令遵守

施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	－
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正

施設の経営状況

収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か	適正

危機管理ー事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか

災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正

履行状況ー提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか

年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	要改善
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

パートナーシップ

関係性の構築

適時の報告・連絡・相談を互いに密にすることで、信頼関係が深まった。

協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）

施設の運営については、指定管理者の協力を得ながら行っているところであるが、利用者によって自主的に管理等をすることで経費の縮減に効果が現れている。今後も指定管理者と意見交換を行い施設管理業務を行っていく

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

利用者に対して利用予定等を調整し、多くの団体に活動の場を提供することができ、登録団体が増加した。施設については、利用者が利用後等に清掃を行っており、良好な施設で利用環境が保たれている。現在、ホームページでの広報活動ができていない状態であるため、スポーツ少年団の本部と協議し対応することとする。

スポーツ活動を行う施設であることから、熱中症予防等、利用者の安全のためエアコンの設置を市に求める。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

選定時の事業計画書に「スポーツ少年団のホームページを通じて利用促進に向けた広報を行う」とあるがホームページが未だ存在せず、遂行できていない状態である。指定管理者には早急に対応するよう求める。また、年度目標を達成できるよう、幅広い機会をとらえて広く広報活動を行い利用促進に努めていただきたい。

トイレ・シャワールーム床の排水溝の水つまりが発生しており、市の予算で市販のパイプつまりを解消する薬剤を購入・使用し、改善を試みた。現在、経過観察中。

利用者から直接、市にエアコン設置を求める声もあり、利用者の安全のためエアコン設置が必要であると考える。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

施設管理業務については、利用者による清掃等を継続し、施設の利用環境を保つとともに施設の適切な維持管理に努めていく。現在、遂行できていない業務については、早急に対応し、施設の利用促進につなげること。

令和６年度　指定管理者制度モニタリング評価表（令和５年度末時点）

１　施設概要

⑴　基本的事項

施設名	尼崎市立園田青少年体育道場	施設所管課	こども青少年局　こども青少年課				
施設住所	尼崎市東園田町8丁目111番地の8	竣工	S56.3（築満41年）				
設置目的	体育を通じて心身ともに健全にして社会性に富んだ青少年の育成を図る。						
主な事業内容	空手、剣道その他一般体育及びレクリエーション活動のための場の提供						
指定管理者名	尼崎市スポーツ少年団	指定期間	自	R4.4.1	至	R9.3.31	

⑵　施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	B（指定管理者の役割が、施設維持管理等に係るものが主である施設）
指定管理者に主として期待される事項	□専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☑効率的な施設維持管理運営　□団体等の担い手としての成長 □その他（　　）

３　市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

外観、器具、運営等に関する利用者アンケートで良い以上の評価を6割以上取得し、登録団体を23団体に増加するように努める。

実施結果

道場の活用を通じて、青少年等と多世代が交流する場として、地域コミュニティの醸成にも役立てているが、目標の達成に至らなかった。（指標①②）

（参考）有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：利用者アンケートにて良い以上の評価の割合（単位：%）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	60	60	60	60	60
実績	－	－	－	－	－	－	59	54			
達成度	－	－	－	－	－	－	98%	90%			
評価	－	－	－	－	－	－	△	△			

指標②：青少年体育道場に登録している団体数（単位：団体）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	23	23	23	23	23
実績	－	－	－	－	22	21	19	20			
達成度	－	－	－	－	－	－	83%	87%			
評価	－	－	－	－	－	－	△	△			

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

効率性

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

道場における活動を通じ、青少年の健全育成を推進するとともに常に道場の整理整頓を心がける等、建物の環境整備に努め、利用者が快適に利用できる環境を提供する。

実施結果及び評価

道場の活用を通じて、青少年等の多世代が交流する場として、地域コミュニティの醸成にも役立てている。また、施設の整理整頓を常に心がけると共に利用者による日常的な清掃等により、施設の保全に万全の注意を払って管理を行ったことで良好な利用環境が保たれている。

○

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

物品を購入する際には、環境に適した物品（グリーン購入）の購入を検討するとともに不要な電気の消灯等に努めていく。

実施結果及び評価

グリーン購入の物品を購入を行うとともに不要な電気の消灯に努めている。

○

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

（参考）経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	500,000	500,000	0	人件費			0
			0	事業費			0
			0	施設維持管理運営費	500,000	326,994	173,006
			0	その他			0
収入計	500,000	500,000	0	支出計	500,000	326,994	173,006

２　指定期間全体を通じての目標・実績

⑴　指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	利用者自身による管理を行うことで管理経費の縮減等が見込め、青少年の体育実技の指導においても幅広い知識や経験、ノウハウが欠かせないことから「指定管理者制度について（指針）」に基づき非公募で指定管理者を選定している。
指定管理者自身が設定した目標	青少年体育道場の登録団体を23団体に増加するように努める。

⑵　市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	青少年が、柔道、剣道、その他一般体育及びレクリエーション活動を通じて、快適に利用できる環境を提供する。

目標指標							
指標	園田青少年体育道場の登録団体						
指定期間	R４	R５	R６	R７	R８	達成状況の評価	
目標値	23	23	23	23	23	微増したが、コロナによる活動団体数の減少の影響により、未だ団体数が回復しておらず目標達成には至らなかった。	
実績値	19	20					

適正性

法令遵守

施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	－
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正

施設の経営状況

収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か	適正

危機管理－事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか

災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正

履行状況－提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか

年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	要改善
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

パートナーシップ

関係性の構築

適時の報告・連絡・相談を互いに密にすることで、信頼関係が深まった。

協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）

施設の運営については、指定管理者の協力を得ながら行っているところであるが、利用者によって自主的に管理等をすることで経費の縮減に効果が現れている。今後も市と指定管理者で意見交換を行い施設管理業務を行っていく。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

利用者に対して利用予定等を調整し、多くの団体に活動の場を提供することができたが、登録団体の増にはいたっていない。施設については、利用者が利用後等に清掃を行っており、良好な施設で利用環境が保っている。
現在、ホームページのでで広報活動ができていない状態であるため、スポーツ少年団の本部と協議し対応することとする。
スポーツ活動を行う施設であることから、熱中症予防等、利用者の安全のためエアコンの設置を市に求める。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

選定時の事業計画書に「スポーツ少年団のホームページを通じて利用促進に向けた広報を行う」とあるがホームページは存在せず、遂行できていない状態である。指定管理者には早急に対応するよう求める。また、年度目標を達成できるよう、幅広い機会をとらえて広く広報活動を行い利用促進に努めていただきたい。
令和5年度、トイレの配管がつまり、市で修繕を行った。
利用者から直接、市にエアコン設置を求める声もあり、利用者の安全のためエアコン設置が必要であると考える。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

施設管理業務については、利用者による清掃等を継続し、施設の利用環境を保つとともに施設の適切な維持管理に努めていく。現在、遂行できていない業務については、早急に対応し、施設の利用促進につなげること。

令和6年度　指定管理者制度モニタリング評価表（令和5年度末時点）

1　施設概要

(1)　基本的事項

施設名	尼崎市立ユース交流センター	施設所管課	こども青少年局　こども青少年課
施設住所	尼崎市若王寺2丁目18番4号	竣工	あまぽーと:昭和55年(築満43年) アマブラリ:昭和52年(築満46年)
設置目的	青少年の健全な育成及び福祉の増進		
主な事業内容	ユースワークの視点に立った青少年の居場所づくり　等		
指定管理者名	尼崎ユースコンソーシアム	指定期間	自　R1.10.1　至　R6.3.31

(2)　施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	A（施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設）
指定管理者に主として期待される事項	☑専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☑効率的な施設維持管理運営　□団体等の担い手としての成長 □その他（　　）

3　市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

指定事業・自主事業の実施にあたっては協定書その他の規定を遵守し、確実に履行するとともに、利用者のニーズを把握し、ユースワークの視点に立った居場所づくりなどの事業実施や新たな取組に生かす。

実施結果

指定事業・自主事業ともに確実に履行しており、特に指定事業においては、多くの事業が仕様書に定める最低実施回数を大きく上回る実績となっている。また、アンケートを実施することで施設運営や事業等に関する利用者ニーズの把握に努めるとともに、青少年利用者有志による委員会であまぽーとのレイアウト変更を検討・実施するなど、ユースワークの視点に立った居場所づくりなどを実施している。(指標①、②)

（参考）有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：利用者アンケートにおける居心地の良さについて、「やや満足」以上で回答した利用者の割合（単位：%）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	89%	89%	90%	90%	90%	90%	90%	90%
実績	－	－	－	92%	89%	90%	85%	91%	－	－	－
達成度	－	－	－	103%	100%	100%	94%	101%	－	－	－
評価	－	－	－	○	○	○	△	○	－	－	－

指標②：利用者アンケートにおけるイベント内容について、「やや満足」以上で回答した利用者の割合（単位：%）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	76%	77%	77%	78%	78%	78%	78%	78%
実績	－	－	－	58%	68%	66%	68%	71%	－	－	－
達成度	－	－	－	76%	88%	86%	87%	91%	－	－	－
評価	－	－	－	△	△	△	△	△	－	－	－

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

効率性

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

施設・設備の必要な修繕について適正に実施するともに、利用率の向上、利用者に対する接遇やサービスの維持・向上を目指す。

実施結果及び評価

法令に従い、施設の保守・保全・点検を適正に実施するとともに、老朽化した備品の入れ替えなども行っている。また、利用者に対する接遇・サービス維持向上に係る研修の実施、昨年度の利用者アンケートをもとにした備品等の充実を図っている。貸室の利用率については昨年度と比較し約3%減となったものの、利用者数については約4%増となった。

○

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

事務事業から発生する二酸化炭素削減に向けて、職員等不在箇所の電気の消灯やペーパーレス化の推進に取り組むとともに資源の分別、リサイクルに取り組む。

実施結果及び評価

使っていない部屋の電気は消灯するなど不要な電気の消灯に取り組むとともに、WEB会議による資料のペーパーレス化など省エネ行動を心掛けている。また、再利用可能な裏紙を利用者にも提供し活用している。びん・缶・ペットボトルなど、資源の分別、リサイクルにも取り組んでいる。

○

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

（参考）経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	48,388,000	48,388,000	0	人件費	38,299,000	37,957,633	341,367
				事業費	2,908,000	2,676,413	231,587
				施設維持管理運営費	165,000	199,900	-34,900
				その他	7,016,000	6,924,107	91,893
収入計	48,388,000	48,388,000	0	支出計	48,388,000	47,758,053	629,947

2　指定期間全体を通じての目標・実績

(1)　指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	①常にユースワークの視点で青少年と関わりを持ち、青少年一人ひとりへの理解を深め、受容しながら、青少年一人ひとりが成長できるよう支援をおこなうことができる人員体制、②青少年のニーズに対応した、施設の魅力向上につながるプログラムの提供能力、③十分な施設管理能力
指定管理者自身が設定した目標	ユース交流センターにおいて、「場づくり、人づくり、つながりづくり」を基本コンセプトとして次の3つの基本方針を軸に運営を行う。①中高生がただ集まる場ではなく、一人ひとりの成長と自己実現を追求した施設、②プログラムや運営において、地域住民や学校教員と連携した施設、③不登校やひきこもり、発達障害、非行、家庭での課題など全ての問題に対応する施設

(2)　市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	ユースワークの視点に立った市内の青少年の居場所づくり事業の拡充に取り組み、様々な交流活動を通じて青少年の成長を支援する拠点施設

目標指標

指標	ユース交流センターの月平均利用者数（単位：人）					
指定期間	R1(H31)	R2	R3	R4	R5	達成状況の評価
目標値	－	－	5,100	5,100	6,300	R4年度に目標値を超えたことから、R5年度から新たな目標値を設定したところ、再び達成した。
実績値	4,825	3,626	4,518	5,844	6,539	

適正性

法令遵守	
施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報の保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
施設の経営状況	
収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
危機管理ー事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
履行状況ー提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか	
年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

パートナーシップ

関係性の構築

市と指定管理者双方が報告・連絡・相談を密に行うよう心掛け、信頼関係が深まった。

協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）

ユースカウンシル事業に参加する若者が、市内の若者の声を聴くために企画したアンケートにおいては、指定管理者がユースカウンシル事業の若者の伴走支援を行い、市が市内の市立高等学校等との調整を行うことで、スムーズなアンケート調査を行うことができた。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

ユース交流センターやひと咲きプラザ内での対応だけでなく、ユースカウンシルにおいての若者の事業サポート、こども若者応援補助金に関しての若者への周知など、様々な事業や場面において、こども青少年課と協働できる体制が整ってきている。一方で、利用者の居住地については施設周辺に偏っており、南部や西部に対してのアプローチは強化していきたい。また、学校や子どもの育ち支援センターいくしあなど様々な機関との連携が求められてきており、こども青少年課と協働しながら、周知等を行っていきたい。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

他都市からの視察が増えるなど、全国的にも認知度が高まり、注目を浴びている。また、青少年によるイベント企画事業やユースカウンシル事業に注力し、青少年が自ら企画や運営を行う主体的な取組の実施を進めている。しかし一方で、ユース交流センターの立地的に、その利用者は周辺住民が中心となっているため、ユース交流センターの取組みが全市展開を図り、各地域においてユースワークが展開されていく必要がある。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

全市的に若者を支援し気軽に相談ができる機会や場を増やすため、引き続きユースワーカーの養成や人材育成に取り組むとともに、各地域においてもユースワークが展開されるようユースワーカーの養成に取り組んでいく。